

# PICだより

## 国際機関 太平洋諸島センターの活動を紹介

太平洋諸島センター（PIC、正式名称：南太平洋経済交流支援センター）は、1996年10月に、太平洋島嶼国および豪州・ニュージーランドの16カ国で構成される地域国際機構太平洋諸島フォーラム（PIF）と日本政府との間で設立された国際機関です。日本と太平洋島嶼国の間の貿易・投資・観光の促進に向けて活動しています。毎回直近の半年間にPICが実施したビジネスプロモーション活動について紹介します。

「フィジー・貿易投資セミナー」、フィジー大使館・JETRO主催/PIC共催



9月21日、在京フィジー大使館・ジェトロ主催、PIC共催で、「フィジー・貿易投資セミナー」を開催しました。会場には新たなビジネス展開を考えている国内企業の方々、およそ100名が参加しました。

JETROの佐藤理事およびマタイトンガ駐日フィジー大使から歓迎の挨拶、外務省からの来賓祝辞に続き、PIC黒崎副所長が、フィジーの経済状況や発展が期待されるビジネス分野について講演しました。黒崎副所長は「フィジーでのビジネス成功は、太平洋島嶼国地域でのビジネス拡大のみならず、環境・IT・観光など様々な分野でグローバル展開することにもつながる」と説明し、日本企業の積極的なフィジーへの投資を促しました。

次に、フィジー投資庁より参加したカマル・チェティ投資マネージャーが、フィジーの投資環境を巡る現状を説明。フィジーでビジネス展開をする上でのインセンティブについても詳細に触れました。続けて、すでにフィジーに進出している日本企業の実績紹介として、South Pacific Free Bird株式会社の谷口社長とREBULA株式会社の原社長が、進出に至った動機や現地でのビジネス活動の魅力について実体験を交えながら話しました。谷口社長はフィジーへの訪問を通して、語学学校という教育分野への進出に至った経緯、また原社長は現地のオーガニックな商品を日本のコスメ市場に展開していく上で重要なポイントについて語りました。

後半では来年春に計画しているフィジーでのワークショップについて、在京フィジー大使館より紹介がなされました。

セミナーの最後には、木地在横浜フィジー名誉領事とPICの斎藤所長が閉会の挨拶。斎藤所長は、2016年に現地で実施した両政府主催の日・フィジービジネスセミナー、さらにはPIC主催の民間訪問団の成果など、日本からフィジーへのビジネスの拡大に日本が官民挙げて取り組んでいることを説明しました。フィジー一国を対象にしたセミナーは初めてでしたが、多くの参加者がその魅力を改めて感じるとともに、来春のワークショップに向けた期待が高まる機会となりました。

### JICA地球広場でパラオセミナーを開催

JICA地球ひろばでは、9月の一ヶ月間、国別展示として、展示・セミナー・料理を通じたパラオ共和国の魅力が紹介されました。この国別展示に関連して、9月25日にPIC黒崎副所長が、「パラオの過去・現在・未来、そして日本の協力」と題し、パラオの歴史と日本との関係について講演しました。



講演では、近年パラオと日本の関係が急速に高まってきた背景を説明しながら、パラオの人々が日本人に対する思いがどこから来るのか、「人々を囲む自然・生態」、「パラオを含むミクロネシア地域の伝統的文化」、「周辺諸国との交流の歴史」という3つのキーワードを掲げて、写真や映像を用いて説明しました。

当日は30名近くの参加者が来訪しました。会場からは「とても中身の濃いセミナーでした」、「(日本とパラオの協力で大事なのは)パートナー視点(を持つこと)についての話が有益でした。歴史視点から、思い入れたっぷりだった自身の視点を多少なりとも変えることができ、公私ビジネス面で役に立てます。」等々の評価をいただき、今後の日本とパラオのビジネスや人的な交流の拡大に貢献できるものとなりました。

### トンガ観光省の職員がPICでインターンシップ&トンガ観光セミナー開催

9月19日～29日まで、トンガの観光省職員、パル・シマタエラアさんとメレスング・プレさんがPICのインターンシッププログラムに参加。二人は現在、国費留学生として名古屋大学で国際開発を学んでおり、夏期休暇を利用してPICでインターンとして活動しました。期間中は、旅行代理店や航空会社、他の太平洋諸島の政府観光局などの方々にインタビューするなど、日本の観光産業の現状について勉強しました。

またこうした二人の活動の一環として、28日には、主に観光関係の方々を対象にトンガ観光セミナーを開催しました。セミナーでは、黒崎副所長より近年の太平洋諸島の観光動向を解説したほか、シマタさんとメレさんが、トンガの観光に関するプレゼンテーションを行いました。続いて開催された懇親会では、特別に用意したタコとココナツミルクを使ったトンガ料理「ローライフェケ」を皆で味わいました。今回は定員30名ほどの小規模なセミナーでしたが、ご参加いただいた方からは、懇親会で講演者と話す時間が十分に取れたからよかった、と好評をいただきました。

最終日には、今回のインターンシップで経験したことと本省での業務にどのように活かせるか、また、PICとどのように連携していくか、PIC職員との意見交換を行いました。今後の活躍に大いに期待したいと思います。



### 国際都市おおたフェスティバル開催

9月30日、大田区にある羽田空港近くの会場にて、大田区主催の「国際都市おおたフェスティバル」が開催

されました。

会場には大田区に関係するブースや東京都内にある在外公館が展示ブースを設け、各国の文化や芸能を紹介しました。太平洋諸島からはフィジー大使館とミクロネシアを応援するNPOレインボーネシアが中心になり、メラネシア・ポリネシア・ミクロネシアの3つのブースで地域の紹介を行いました。

PICも後援として参加し、太平洋島嶼国に関するパンフレットなどを提供して、太平洋諸島の知名度向上に努めました。当日は大田区民をはじめとした多くの人々が参加し、各国の珍しい文化や食事を楽しんでいました。

### マーシャル諸島ビジネス交流訪問団報告

11月、PIC

は民間企業の  
皆様で構成す  
る「マーシャ  
ル諸島ビジネ



ス交流訪問団の派遣事業を実施、7社8名の企業の方々と同国を訪問。21日には首都マジュロにて日本とマーシャル諸島の両政府が主催する「日・マーシャル貿易投資セミナー」が開催され、PICの斎藤所長をヘッドとする本訪問団のメンバーも出席しました。

セミナーには、日本側代表として堀井巖外務大臣政務官、マーシャル側からはアルフレッドJr.天然資源・商業大臣とシルク外務貿易大臣が出席される中、日本・マーシャルのそれぞれ官と民のパートから、両国の貿易と投資拡大に向けた提言が発表されました。

21日午前と22日には、訪問団一行は現地の日系企業MJCC協力のもと、PICが企画したマジュロの主要企業等を訪問するツアーに参加しました。

マーシャルの重要な産業である漁業関連では魚市場と魚の加工場2カ所を視察。また、昨年、日本から技術移転をしたリヤカ工場やマーシャルの代表的産品であるアミモノ(工芸品)製作所やカヌー製作所のほか、ボートで離島にあるモイという魚の養殖場を視察しました。ツアーの最中には「東太平洋戦没者の碑」への献花も行われました。

参加された企業の皆様からは、通常は見ることのできない施設等を見学でき有意義なツアーだったとのお声をいただきました。中には個別の商談に発展したケースもあり、今後のビジネス展開が期待されます。